

## A：全体認識視点：新型コロナウイルスによる世界の変化

- **科学**、特に先進国医療への信頼への疑問符。万能だと思っていた。
  - 12モンキーズの世界が現実に！？
- 脆い**経済**。
  - 物を買わない・・・コロナ前からの潮流
  - パーソナルなサービスが全滅
- **文化的**なもの、娯楽の価値。・・・不要な物なのか？
- リモート技術の導入進む。
- 環境問題系
  - PM2.5が減った。
- **格差**
  - エッセンシャルワーカー、流通、工場、工事現場は普段通り。
    - （ある意味、格差：休んでも補償金もらえる人と、休めない人）
  - 途上国や貧困家庭など、経済的弱者への支援は限定的。
    - 最終的にそこへしわ寄せか？
- **（政治への関心？？？）**

## B：個人ベース視点：ポストコロナ時代への「個人認識・対応・意向」

- ・ 科学：科学、技術をちゃんと使う意識のアップ。
- ・ 経済的格差が広がる。経済的弱者の危機感高まる。
  - ・ 自由発想の起業が減る。（逆に増える？）
- ・ 鎖国？「自分」ってどこまで？ 家族～国・・・
- ・ オンライン利用による働く場所のバリエーション増える。
  - ・ 転勤なくなる。生活、人生が、会社に支配される割合が減るかも。
- ・ リアルの必要性再認識：工場、流通、建設現場、リアルコミュニケーション
- ・ 潜在的な危機—大自然災害や戦争にどう備えるか。

C：テクノ未来塾視点 ポストコロナ時代に求められる「テクノ未来塾活動のあり方、方向性、やりたい・やること」

## ・ オンライン

- ・ フォーラム、ゼミのオンライン化
- ・ 理事会、会員総会のオンライン化。進捗・報告会議など回数アップ
- ・ 動画配信

## ・ 内容

- ・ 科学、技術の役割について発信を。（論理的思考、事実を積み上げての仮説など含）
- ・ 人間にとって普遍的なものは何なのか。